

レストランでのカロリー表示義務で低カロリーの新メニューが増加

米国では 2018 年以降、20 か所以上の店舗をもつレストランチェーン店にメニューのカロリー表示を義務づけている。この政策で店舗側は低カロリー商品を提供するようになり、利用者の摂取カロリーが減少することにつながるが、全体としてどのような変化があったのかは明らかになっていない。本研究では、カロリー表示についての法改正の前後でレストランのメニューに含まれるカロリーがどのように変わったのかを調べた。

大手レストラン 59 社から 2012～2019 年に得られた 35,354 種類のメニューのカロリーを分析した。その結果、法改正以前からあるメニューで法改正後も提供されているメニューについては、カロリーに有意な変化はみられなかった (-2.3kcal) が、法改正後に新たに提供されたメニューについては、法改正前のメニューよりも平均カロリーが低かった(-112.9kcal)。

したがって、レストランのメニューにカロリー表示を義務づけることで、新たに加えられたメニューのカロリーが低下していることが示された。一方で、従来からあるメニューについては含有カロリーに変化はみられなかった。

出典：Journal of American Medical Association. Network Open. 2021 Dec1; 4(12): e2141353.